

III 埋蔵文化財事業

1 整理作業、報告書刊行

開発行為に伴い行った埋蔵文化財の発掘調査の資料整理作業のほか寄付された考古資料の調査報告書刊行を実施した。

(1) 『富士宮市の遺跡Ⅷ』（資料整理作業・発掘調査報告書刊行）

令和3年度、学校法人加藤学園より旧加藤学園考古学研究所蔵遺物の寄付を受けた。これらの考古資料の整理作業を行い、文化財調査報告書を令和6年3月に刊行した。

《報告書の概要》

本書では、寄付された考古資料のうち千居遺跡、箕輪遺跡、辰野遺跡、黒田（月の輪）・沼久保遺跡（現滝戸遺跡、月の輪遺跡群、沼久保坂上遺跡と考えられる）、旧芝川町所在遺跡において、採取された資料のほか、大石寺所蔵とされる渡来銭（出土地やその由来については詳細不明）について掲載をしている。

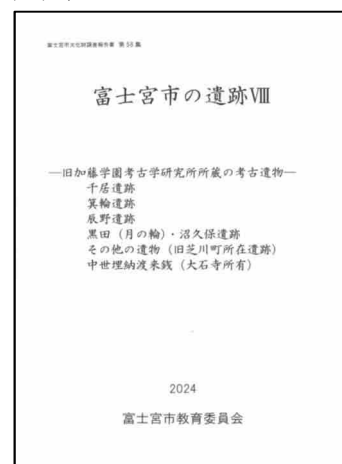


写真6 『富士宮市の遺跡Ⅷ』

(2) 滝戸遺跡発掘調査（資料整理）

前年度に引き続き、富士宮市立第三中学校擁壁工事に伴い令和3年度に実施した発掘調査の資料整理作業を行った。

所在地：富士宮市野中 658 ほか

期 間：令和3年6月16日～12月10日

面 積：発掘面積約 125 m²

目 的：擁壁工事に伴う発掘調査

《遺跡の概要》

滝戸遺跡は、富士宮市立第三中学校の校庭を中心に潤井川まで広がる大遺跡で、縄文・弥生・古墳時代にまたがる複合遺跡である。これまでの調査によって、縄文時代の竪穴住居跡や配石遺構、弥生時代から古墳時代にかけての住居跡や方形周溝墓などが発見され、各時代の土器・石器などの遺物も多数発見された。

《今回発見された主な遺構・遺物》

遺構：集石・配石遺構、埋甕（縄文時代中期～後期）

方形周溝墓（弥生時代）

遺物：土器・石器（縄文時代草創期・早期・中期・後期、弥生時代末期～古墳時代初頭）

《調査の成果》

縄文時代中期から後期の遺構面（縄文1面）が検出され、集石・配石遺構5基及



図1 対象地

び埋甕6基が発見された。包含層からは、井戸尻式から堀之内式までの土器及び石器が多量に出土した。主体を占める型式は曾利Ⅲ式～曾利Ⅴ式までとなっている。

縄文1面を切る形で、弥生時代の方形周溝墓が構築されていることが確認された。方形周溝墓は3基検出され、溝の中から弥生時代末期～古墳時代初頭にあたる土器片が多く出土した。また、残存率の高い二重口縁壺が1点出土している。

縄文1面の包含層が約1m続き、その下位から褐色土層が検出された。従来の調査では当該土層からは遺物が出土していなかったが、一部を深掘したところ、黒曜石が大量に出土した。そのため褐色土層を縄文2面として精査をおこなったところ、調査区中央部を中心として、縄文時代早期の撚糸文土器、縄文時代草創期の微隆起線文土器、隆線文土器及び有舌尖頭器等の遺物が出土した。

2 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査

令和5年度に行った調査は表1のとおりであり、遺構は峯石遺跡(14)、五反田遺跡(18)、下ヶ谷戸遺跡(20)で遺構が検出された。検出された遺構の概要は以下のとおりである。また、五反田遺跡(21)では遺物のみであるものの縄文時代の石器が出土した。

表1 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査一覧表

番号	名称	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
1	東田遺跡	貴船町	R5. 5. 11	3 m ²	古墳、奈良平安	なし	土器・石器 (古墳・奈良平安)
2	上宿遺跡	小泉	R5. 5. 25	2. 5 m ²	縄文・古墳	なし	なし
3	貴船町遺跡	貴船町	R5. 6. 7	6 m ²	弥生、古墳、奈良	なし	なし
4	石敷遺跡	小泉	R5. 7. 4	6 m ²	縄文、弥生、古墳、奈良、中世	なし	なし
5	五反田遺跡	黒田	R5. 7. 7	3 m ²	縄文、古墳	なし	なし
6	五反田遺跡	黒田	R5. 7. 14	3 m ²	縄文、古墳	なし	なし
7	時田遺跡	大岩	R5. 7. 19	12 m ²	縄文、古墳	なし	なし
8	東谷戸遺跡	村山	R5. 7. 25	3 m ²	縄文、古墳	なし	なし
9	宝田遺跡	大岩	R5. 7. 27	3 m ²	縄文、古墳、中世、近世	なし	なし

10	小泉向原 遺跡	小泉	R5. 8. 18	2 m ²	縄文	なし	なし
11	上宿遺跡	小泉	R5. 9. 15	5. 25 m ²	縄文、古墳	なし	なし
12	野中中村 遺跡	野中	R5. 9. 11	1. 9 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
13	貴船町遺跡	西町	R5. 11. 7	3 m ²	弥生、古墳、奈良	なし	なし
14	峯石遺跡	大岩	R5. 11. 29	25. 5 m ²	縄文、古墳、奈良	土坑 (縄文)	土器 (古墳)
15	坊地上遺跡	野中	R5. 12. 7	22. 6 m ²	縄文、弥生、古墳	なし	なし
16	猫沢中村谷戸 遺跡	猫沢	R5. 12. 13	6 m ²	縄文	なし	なし
17	神祖 2 号墳 近接地	小泉	R6. 1. 25	5 m ²	古墳	なし	なし
18	五反田遺跡	黒田	R6. 1. 31～ 2. 2	15 m ²	縄文、古墳	溝、土坑 (縄文、 古墳)	土器 (弥生～古 墳)
19	石畑遺跡	大中里	R6. 2. 14	4. 5 m ²	古墳	なし	なし
20	下ヶ谷戸 遺跡	黒田	R6. 2. 27、 28	24 m ²	弥生、古墳	土坑 (古墳)	土器 (古墳)
21	五反田 遺跡	黒田	R6. 3. 5	3 m ²	縄文、古墳	なし	石器 (縄文)

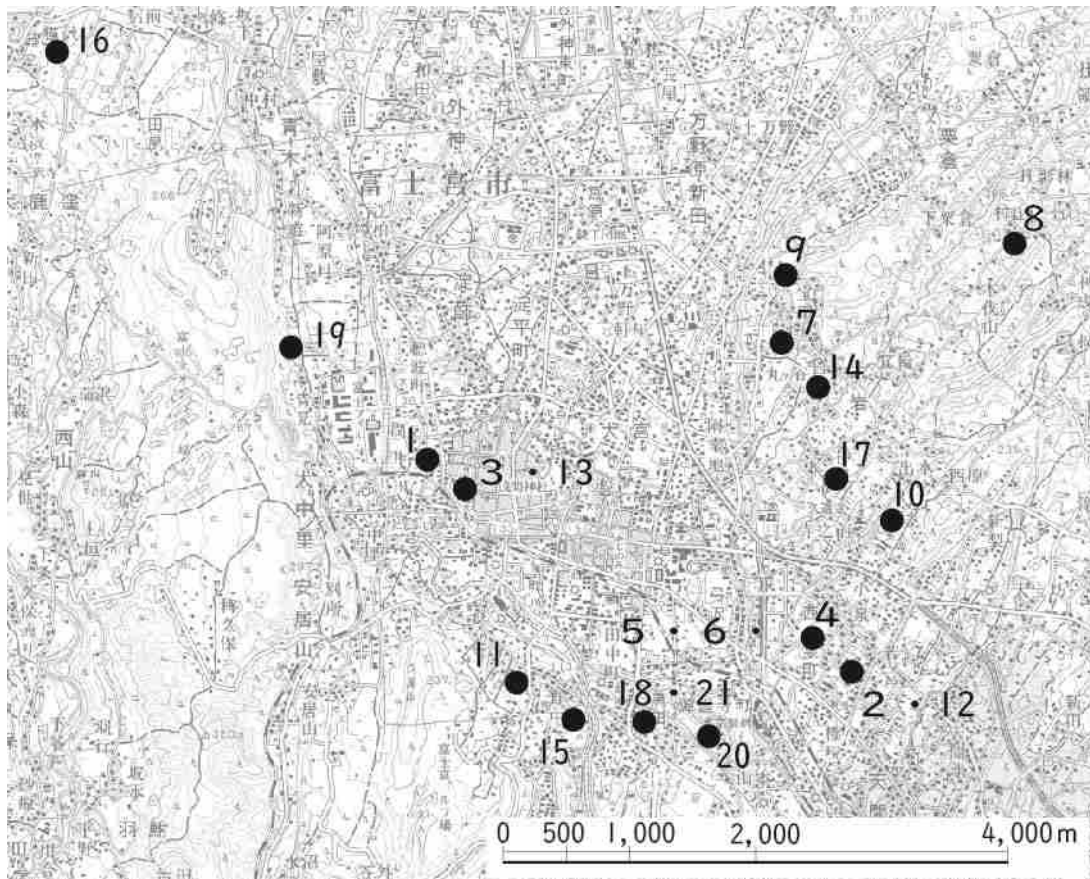


図2 確認調査実施箇所位置図 (S=1/60,000)

(1) 峯石遺跡 (表1—14)

《遺跡の概要》

富士宮市大岩の大沢川中流域の西岸に広がる遺跡である。平成5年と平成23年に実施した発掘調査では、縄文時代の竪穴住居跡や古墳時代、奈良時代の建物跡が検出されている。また、土器及び石器も出土している。

《調査の概要》

集合住宅2階建て2棟建設に伴う事前の確認調査で、トレンチ4本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：土坑（縄文時代） 遺物：土器（古墳時代）

《調査の成果》

TR1、2については地表面から80cmほどが攪乱層であり、スコリア層の残りや第2、3層が混ざっている状況であった。

これより下位は自然の堆積物が残っており、縄文時代晩期に相当する第2層と縄文時代中期～後期に相当すると考えられる第3層が確認された。

TR2の攪乱を受けた層より土師器と考えられる土器1片が出土した。

TR3、4については、地表面より80cm～110cmが攪乱を受けており、第2～4層が混ざっている状況であった。

堆積層については TR 1、2 同様に攪乱層である第 1 層の下位は自然の堆積物が残存していた。

第 4 層は縄文時代草創期頃に相当する層であると考えられる。

TR 4 より土坑と考えられる掘り込みが 3 基確認された。掘方は現況から 130 cm での確認である。遺物は伴っておらず、時期については層位的に縄文時代前期～中期のいずれかの時期に帰属すると考えられる。



写真7 Tr4 完掘状況

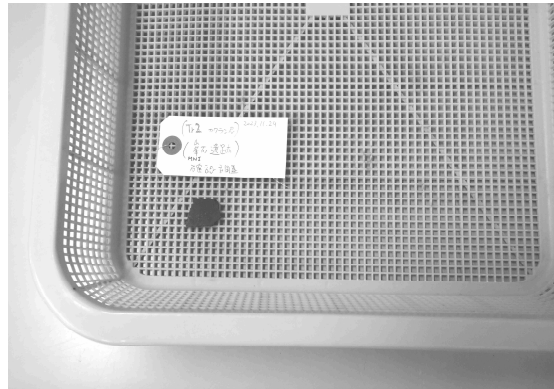


写真8 出土遺物

(2) 五反田遺跡 (表 1—18)

《遺跡の概要》

黒田小学校の北側に広がる遺跡で縄文時代、弥生時代～古墳時代までの遺跡であると考えられる。

《調査の概要》

宅地造成工事に伴う事前の確認調査で、トレンチ 5 本を設定して掘削を行った。

《主な遺構・遺物》

遺構：溝状遺構、土坑 遺物：土器（弥生時代～古墳時代）

《調査の成果》

TR 1～5 の内、TR 2 を除いたトレンチから遺構や遺物が検出された。

TR 1 からは遺物包含層や溝状遺構が検出され、遺構覆土中から弥生時代後半～古墳時代前期にかけてと考えられる土器が出土した。

TR 3 からは遺構の検出はないが遺物包含層が検出され、多くの土器片が出土した。このトレンチの土器も TR 1 と同様に弥生時代後半～古墳時代前期にかけてのものである。

TR 4 及び TR 5 からは溝状遺構と土坑が検出された。遺物の出土はない。

今回の調査では、TR 2 を除くトレンチから遺構や遺物が検出されたが、時期を推定できる遺構は TR 1 の溝状遺構のみである。そのほかの遺構については、遺物が伴っていないため、検出した層位から推測するしかなく、縄文時代～古墳時代のいずれかの時期のものであると思われる。



写真9 TR5完掘状況

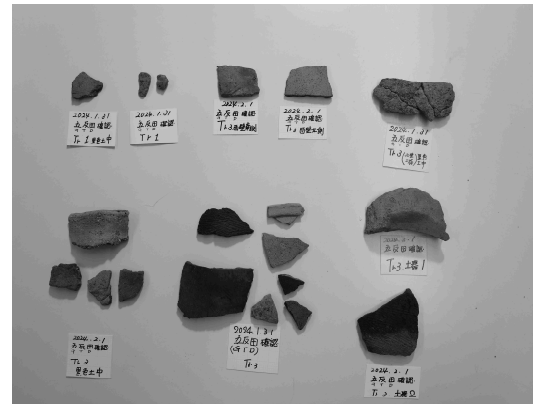


写真10 出土遺物

3 埋蔵文化財活用事業

埋蔵文化財活用事業として、以下の教室を行った。

名称	内容	実施日	参加者数
「作ろう！勾玉」教室	勾玉作り	令和5年8月18日 令和5年8月19日	午前14人、午後13人 午前18人、午後15人

4 富士宮市埋蔵文化財センター

発掘調査で出土した遺物を収蔵保管し、整理作業を行っている。また、展示室では市内の遺跡・史跡の展示をしている。

(1) 施設概要

所在地：富士宮市長貫 747-1

電話番号：0544-65-5151

FAX番号：0544-65-2933

駐車場：50台

開館日：平日（祝日・年末年始休館、土・日曜日は団体のみ（要事前連絡））

開館時間：9:00～17:00

見学料：無料

展示内容：旧石器時代から中世・近世の各時代出土資料、市内主要遺跡の紹介、史跡富士山関連遺跡発掘調査出土資料



写真11 展示室